

第2号

2004
5.1

大館市・田代町合併協議会だより

おおだて・たしろ

みんなで考えよう私たちの未来



合併の方式は「編入合併」
新市の名称は「大館市」



第2回合併協議会

合併協定基本4項目決まる

第2回合併協議会が、平成16年4月9日、田代町総合開発センターにおいて開催され、合併基本4項目について協議が行われました。

冒頭、吉田光明副会長（田代町長）が、協議の土台にしていたきたいと発言を求め、「大館市もそうであると思うが、田代町も先人が培った歴史、風土、伝統がある。これらを誇りに一自治体として自立することも模索したが合併の道を歩むことにした。田代町は県内第二の都市である大館市と隣接しており、行政、商業、日常生活ともに強い絆で結ばれている。そのような大館市と合併することで協議を継続していることに感謝申し上げたい。」として、田代町としての考え方を説明しました。

その後、伊藤毅委員（大館市議会議長）から大館市議会での意見調整の結果が報告され、協議が始まりました。

協議の結果、4項目とも全会一致で、下表のとおり確認されました。なお、協定基本4項目の協議内容については発言を中心に、次のページでご紹介します。



協 議 項 目	合 意 内 容
1 合併の方式	田代町を廃し、その区域を大館市へ編入することとする。 （編入合併）
2 合併の期日	合併特例法の特例措置期限である平成17年3月31日までの合併を目指す。ただし、法律が改正された場合は、改めて協議する。
3 新市の名称	大館市とする。
4 新市の事務所の位置	事務所の位置は、現大館市役所とする。現田代町役場については、住民の利便性等を勘案して、必要職員を置く総合支所方式とし、空きスペースについては、分庁舎としての活用を考慮する。

基本4項目協議内容

合併の方式は「編入合併」

吉田光明 副会長

田代町としては、一つの自治体として対等の立場で合併すべきだとの意見は数多くあったが、自治体としての人口、財政規模や諸般の事情を勘案したところ、住民としては寂しい気持ちもあるが、大館市に編入する「編入合併」という道を取るということに、町として一定の方向を見出すことができた。

伊藤 毅 委員

大館市議会では、新設を推す議員もいたが、28人中22人が編入という方向でよいと考えており、大館市議会としては編入という方向でまとまった。

また、将来の2市3町という枠を考えた場合、編入は他の市や町に与える影響が大きいのではないかと、「容易に大館市に合わせるべきでない」「田代町の住民が大きい大館市に従わされたという感じを持たないように、十分配慮してほしい」という意見もあったので付け加えさせていただく。



合併は平成17年3月31日までに

吉田光明 副会長

田代町としては、合併の期日は、財政支援等のある期限内に合併すべきだという考え方にまとまっている。また、合併特例法の特例措置期限に関する規定が改正され、期日を一年延期しても財政支援が受けられるようになった場合、再度協議をすべきではないかと考えている。

伊藤 毅 委員



大館市議会としては、合併特例法の特例措置期限に関する法案の行方を見極めてもよいのではないかとこの意見も出たが、市議会議員28名中24名が17年3月31日に目標値を設定した方がよいという意見であり、市議会としてそのように判断した。



新市の名称は「大館市」

吉田光明 副会長

新市の名称は、編入合併とすることから「大館市」が適当であると考えている。特に「大館市」という名前は、大変ブランド化され、全国的に広まっており、そういう名前をなくするのは非常に残念なことと思う。

伊藤 毅 委員

大館市議会では全員「大館市」にすべきではないかと意見集約された。



事務所の位置は、現大館市役所に

吉田光明 副会長

編入合併とすることから、現在の「大館市役所」を新市の事務所とするのが最も適当であると考えている。ただ、大館市に事務所を置くにしても、現在の田代町の住民の利便性を考慮し、窓口業務はもちろんのこと、ある程度の行政機能を持たせた総合支所方式を採用していただきたい。

また、総合支所方式を採用しても、現田代町役場庁舎にはかなりの空きスペースができるため、なんらかのセクションを持つてくる、分庁方式も併用して考えていただきたい。

伊藤 毅 委員

大館市議会としては、全員新市の事務所の位置は、現在の大館市役所の庁舎で構わないということで意見集約された。

ただし、ほとんどの議員が、田代町にもっと気を使わなければいけないということ、田代町長がおっしゃったように、総合支所または分庁舎方式を検討し、急激な変化をもたらさぬよう配慮すべきであるという意見があった。



委員からの意見、要望、質疑等

質問

事務所の位置を大館市役所にすれば、駐車場は狭いし庁舎も手狭なようだが、田代と一緒にすれば混雑するのではない。大館市議会ではその点について話題にならなかったのか

(虹川景一委員)

回答

現状で、職員の駐車場は庁舎外の別の駐車場等に振り分けており、ある程度解消されているが、今でも若干狭いということとは認識している。

(伊藤 毅委員)

回答

庁舎等が狭いということについては、総合支所方式や分庁舎方式を検討し、田代町役場の空きスペース等を有効活用することで解消することも可能ではないか。

(小畑 元会長)

要望

全国の事例では、編入される側が差別的な扱いを受ける場合があるが、大館市と田代町の場合はそのようなことはないものと信じており、編入で

あっても対等の立場で新市をつくっていただきたい。また、各種協議において、双方の担当者はお互いに尊重し合いながら、真摯な態度で臨まれるようお願いしたい。特に、田代町の職員が編入という理由で侮蔑的な扱いをされることのないよう配慮していただきたい。

(小笠原 豊委員)

用語解説

- 本庁方式：庁舎の機構組織を本庁1ヶ所に集約する方式。他の庁舎は、窓口的機能を持つ支所、出張所となる。
- 分庁舎方式：合併関係市町村の従前の庁舎を、行政機能を振り分けて利用する方式。
- 総合支所方式：管理部門や事務職部門を除き、合併関係市町村の庁舎における行政機能をそのまま残す方式。



第2回合併協議会報告・協議案件

報告事項

報告第5号

新市建設計画の作成方針及び合併協定項目の調整方針について

協議事項

協議案第8号

合併の方式について

協議案第9号

合併の期日について



協議案第10号

新市の名称について

協議案第11号

新市の事務所の位置について

提案事項

(次回協議)

協議案第12号

議会の議員の定数及び任期の取扱いについて

協議案第13号

農業委員会の委員の定数及び任期の取扱いについて



合併協定項目の調整状況

平成16年4月9日現在

分類	No	設 定 項 目	提案	調 整 状 況
A 群	1	合併の方式		確認(4/9第2回協議会)
	2	合併の期日		確認(4/9第2回協議会)
	3	新市の名称		確認(4/9第2回協議会)
	4	新市の事務所の位置		確認(4/9第2回協議会)
B 群	5	財産の取扱い		
	6	事務組織及び機構の取扱い (本庁組織、出先機関、 附属機関、地域審議会)		
	7	農業委員会の委員の定数 及び任期の取扱い		協議予定 (4/28第3回協議会)
C 群	8	地方税の取扱い		
	9	一般職の職員の身分の取扱い		
	10	特別職の身分の取扱い		
	11	条例、規則等の取扱い		
D 群	12	議会の議員の定数及び 任期の取扱い		協議予定 (4/28第3回協議会)
	13	一部事務組合等の取扱い (一部事務組合、協議会、 公社、第三セクター)		
	14	使用料、手数料等の取扱い		
E 群	15	公共的団体等の取扱い		
	16	補助金、交付金等の取扱い		
	17	町名、字名の取扱い		
	18	慣行の取扱い (市章、花、木、歌、 憲章・宣言、行事)		
F 群	19	国民健康保険事業の取扱い		
	20	介護保険事業の取扱い		
	21	消防団の取扱い		
	22	行政区の取扱い		
G 群	23	各種事業の取扱い		
	1	男女共同参画事業		
	2	国際交流事業		
	3	電算システム事業		
	4	広報広聴関係事業		
	5	納税関係事業		
	6	消防防災関係事業		
	7	交通関係事業		
	8	窓口業務		
	9	保健衛生事業		
	10	病院、診療所		
	11	休日、夜間、救急診療		

分類	No	設 定 項 目	提案	調 整 状 況
H 群	12	障害者福祉事業		
	13	高齢者福祉事業		
	14	児童福祉事業		
	15	保育事業		
	16	生活保護事業		
	17	その他福祉事業		
I 群	18	健康づくり事業		
	19	ごみ収集運搬業務		
	20	環境対策事業		
	21	農林水産関係事業		
	22	商工、観光関係事業		
	23	建設関係事業		
	24	上水道、下水道事業		
J 群	25	公立学校(園)の通学区		
	26	学校教育事業		
	27	文化振興事業		
	28	コミュニティ施策		
	29	社会教育(生涯学習)事業		
	30	社会福祉協議会		
	31	その他の事業		
	24	新市建設計画		

合併協定項目の調整は次の順番で進められていきます。

分科会で協議・調整

専門部会で協議・調整

幹事会で協議・調整

合併協議会へ案件を提案

合併協議会で協議・調整

合併協議会で協議・調整
の結果を確認

ハチとタケノコ姫



秋田犬

大館市には国指定や登録の文化財が8件あってこのうち天然記念物は6件もあるんだ。

ハチさん。「秋田犬」も天然記念物なのよね。

もともとは「大館犬」と呼ばれていたんだ。「長走風穴高山植物群落」も国指定の天然記念物で、岩のすき間から吹き出す冷氣によって高い山にしか生えない高山植物が生育している珍しい場所なんだ。

高い山といえば、ミツガシラを稲に見立てて豊凶を占う「田代岳の作占い」が田代町の文化財の一つとなっているの。

改めてみると、ユニークで貴重な「宝物」がいっぱいあるよね。



「作占い」が行われる田代岳。九合目には高層湿原が広がる

大館市の文化財(38件)

- 【国指定等】8件 ▶ 八幡神社 ▶ 長走風穴高山植物群落 ▶ 芝谷地湿原植物群落 ▶ 秋田犬 ▶ ザリガニ南限生息地 ▶ 声良鶏 ▶ 比内鶏 ▶ 桜櫓館(旧櫻場家住宅)＝国登録有形文化財＝
- 【県指定】9件 ▶ 北鹿ハリストス正教会聖堂 ▶ 刀装(銘 出羽秋田住正阿弥伝兵衛作) ▶ 太刀(無銘 伝一文字成宗) ▶ 刀(銘 大和大掾藤原正則) ▶ 脇差(銘 栗田口一竿子入道忠綱彫同作) ▶ 菅江真澄著作46点 ▶ 鋒形石器2個 ▶ 矢立廃寺跡 ▶ 金八鶏
- 【市指定】21件 ▶ 聖像画(イコン)19点 ▶ 大館囃子 ▶ 出川の櫓…など

田代町の文化財(7件)

- 【県指定】1件 ▶ 矢石館遺跡
- 【町指定】6件 ▶ 山田獅子踊り ▶ 蛭沢獅子踊り ▶ 代野番楽 ▶ 御神木の櫓とイチイ ▶ 田代岳作占い＝県記録選択無形民俗文化財＝ ▶ 長坂一里塚

【数字でみる新市の姿】

農林水産省「14年(産)作物統計調査」によると、稲の作付面積は大館市(2,680ha)と田代町(912ha)を合わせて3,592haで、米の収穫量は19,100tとなっています。

1人当たりの米の年間消費量は約62.7kg(14年度食料需給表より)とされていますから、1年間で消費するお米、およそ30万人分を生産していることになります。

30万人分



連心一望

ODATE

TASHIRO

大館、田代の四季折々の風景などを写真で紹介します。



河川敷の春(大館市の長木川)

●撮影/村木 勝富さん(大館市御成町一丁目)



水芭蕉群落(田代町の平滝で)

●撮影/富樫 弘さん(大館市豊町)

ホームページが公開されています。

協議会資料は全て公開されております。
協議案、会議録、協議会日程、これまでの経過等、ホームページでご覧になれます。また、ご意見、ご提案をお寄せいただくこともできますのでご利用ください。

<http://odate-tashiro.jp>



お知らせ

第4回大館市・田代町合併協議会

と き：平成16年5月17日(月) 午後1時30分～
ばしょ：田代町総合開発センター 2階集会室

合併協議会の会議はどなたでも傍聴できます。会議開始30分前から受付けておりますので、直接会場へおいでください。都合により日時、場所等が変更になることもありますので、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

大館市・田代町合併協議会事務局

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地(大館市役所内)
TEL.0186-49-3111(代) FAX.0186-43-9931
info@odate-tashiro.jp <http://odate-tashiro.jp>